

2026年度 第1回 Double Treeセミナー

自治体営業 理解すべき年間スケジュール

2026年1月28日
Oneness Link株式会社
代表取締役
砂川 章雄



皆さま、はじめまして！

Profile

行政コンサルタント

砂川 章雄 (いさがわ あきお)



1972年神戸市生まれ。1997年東京大学教育学部卒業。
パナソニック、PayPayで25年間勤める中で、総務省への出向も含め、
一貫して公共分野（官公庁渉外、自治体営業）に携わる。

政策渉外の立場で、総務省・経済産業省の実証実験等への参画や、
業界団体での政策提言活動による事業環境作りに携わり、
また自治体（東京都）に対する営業責任者として、公共施設・道路・
上下水道の情報通信システム提案・受注・販売活動、営業戦略構築、組織作りにも従事。
情報通信分野の他、障害福祉事業、不動産事業の支援実績等。

民間と行政とがもっと密に連携してこそ日本の底力が発揮できるとの信念から、
コンサルタントとして丁寧・熱心なコミュニケーションを心がけている。

講演実績

- ・一般社団法人 電子情報技術産業協会（JEITA）AVC部会
「通信・放送を巡る最近の政策・市場動向」2024.3.29
- ・特定非営利活動法人 ITS Japan コミュニティプラザ
「地域におけるライドシェアを考える」2025.4.18 他

企業と行政が手を取り地域を共創できる社会へ ワンネスリンク株式会社



Oneness Link

皆さま、はじめまして！

企業基本情報

「企業と行政が手を取り地域を共創できる社会へ」

社名：Oneness Link 株式会社



事業目的：

1. 中小企業等に対する経営コンサルティング事業
2. 中央省庁、地方公共団体等に対する政策関連コンサルティング事業

本社所在地：神戸市中央区御幸通 8 - 1 - 6 神戸国際会館 22F

設立年月日：令和 5 年 1 月 6 日

法人番号：1140001128692

府省庁共通 統一参加資格 業者コード 0000222081

認定経営革新等支援機関：第 91 号認定 ID 番号 109128000212

神戸市物品等請負競争入札参加資格 業者番号 04978

神戸商工会議所会員 会員 No.595278

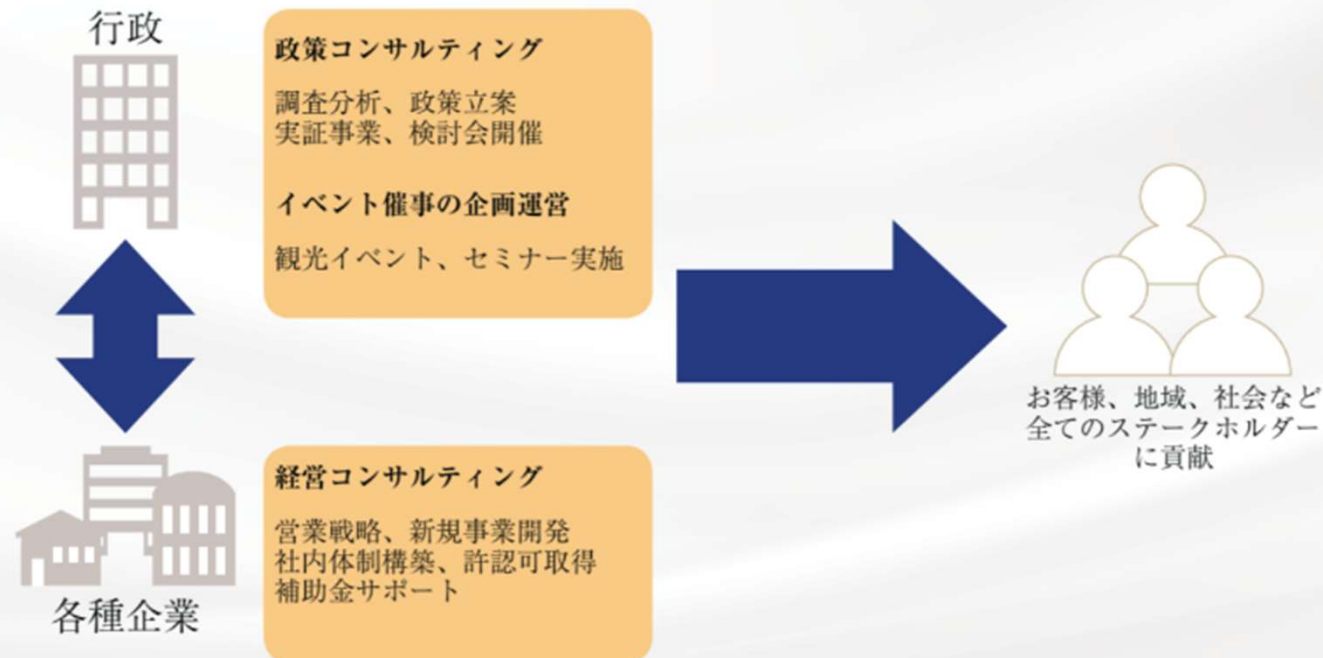
古物営業許可 兵庫県公安委員会 第 631202400012 号


O n e n e s s L i n k

皆さま、はじめまして！

Oneness Link の構想

「企業と行政が手を取り地域を共創できる社会へ」





1. 自治体の基本的な予算スケジュール

2. 各時期で何をしているのか？

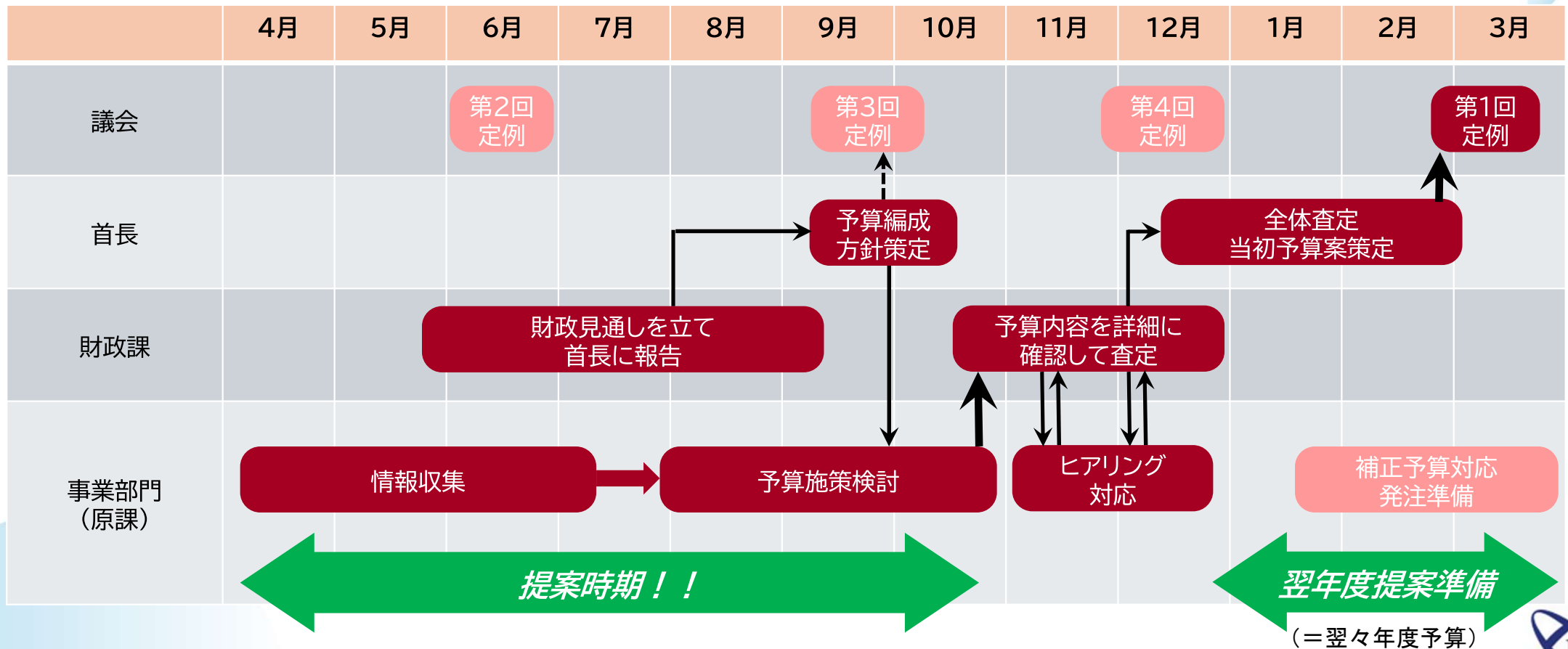
営業は何を準備すべきか？

1. 自治体の基本的な予算スケジュール

自治体の基本的な予算スケジュール

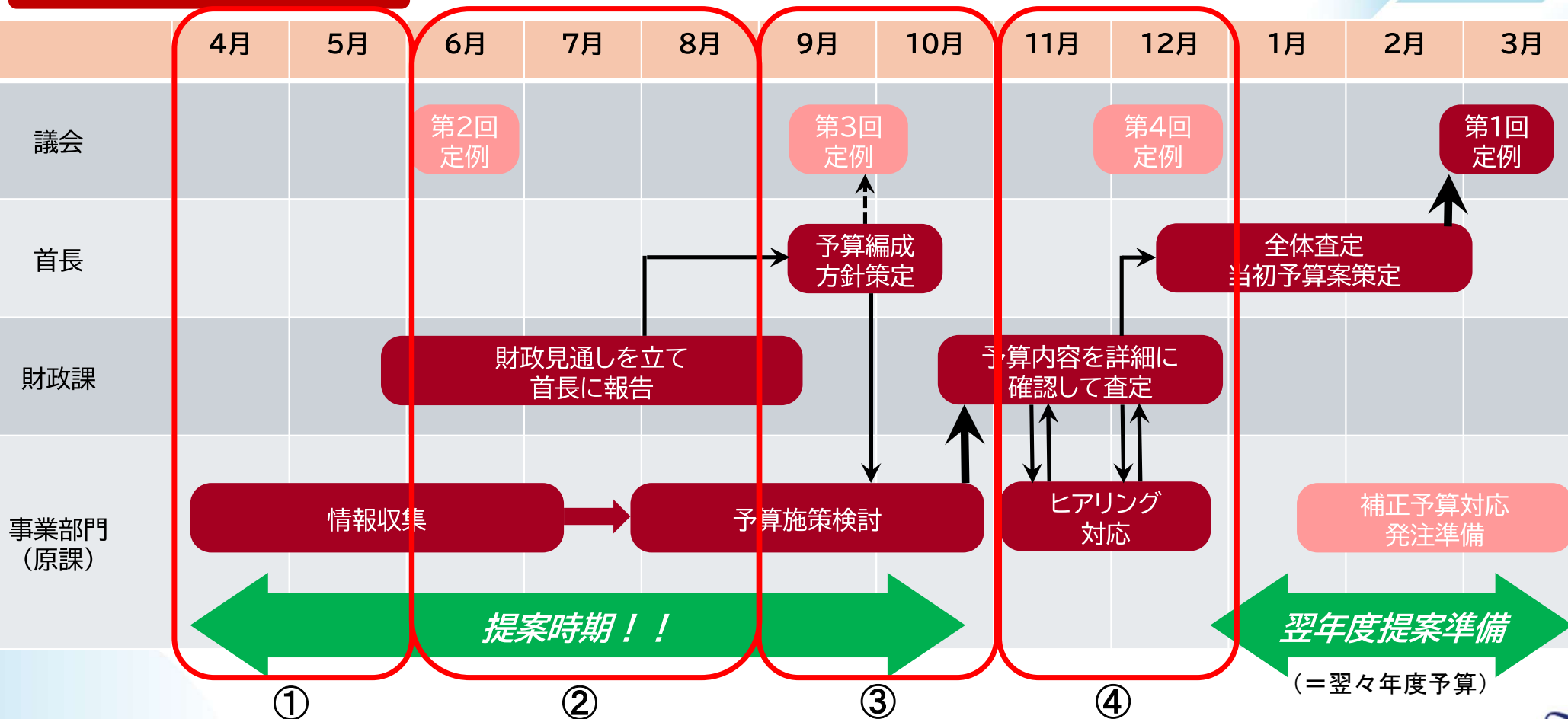
予算化スケジュールを理解した提案活動の推進

自治体の予算スケジュール



自治体の基本的な予算スケジュール

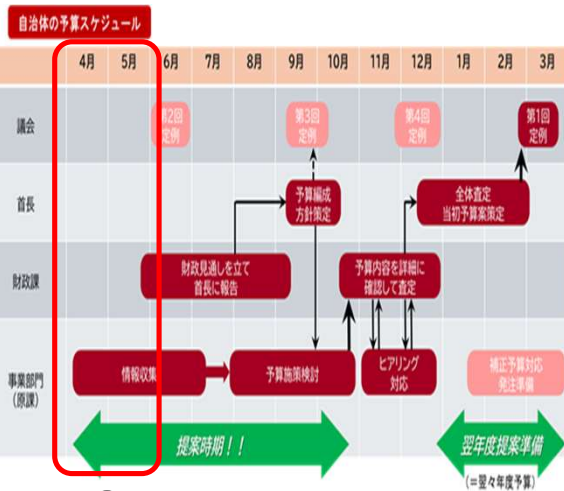
自治体の予算スケジュール



(全体を4つに分けて説明します)

2. 各時期で何をしているのか？
営業は何を準備すべきか？

4月～5月 情報収集



<次年度予算施策の検討に向けた情報収集>

- (前任者からの引継ぎ)
- 政策課題の見直し (行政計画上のKPI達成状況、具体的課題の抽出、etc.)
- 近隣自治体、同様の自治体での政策状況
- 世の中の技術やソリューションの動向、新しい動き、特徴的な取組

<今年度予算施策の執行準備>

- 発注資料 (仕様書等) の作成、庁内稟議



<営業としてやるべきこと>

- (新任者への挨拶)
- 上記に関連した情報提供 (地域課題、導入事例、新技術・ソリューション等)
- 「ざっくり提案ストーリー」を当ててみながら、次年度施策の大まかな方向性確認
- (ざっくり提案ストーリーに沿った) 超概算見積りの提出

○ 今年度発注事業の情報収集

- 仕様化活動の最後の詰め (仕様書 (案) 作り・評価基準書 (案) 作り)

(事例) 東京都からのプロジェクションマッピングの例

「来年度、水辺でのプロジェクションマッピングイベントを考えたい。
ざっくりいくらかかるか、明日の午前中メドで教えてほしい。」



【電話】もう少し教えて下さい。

- ・ 場所は決まっていますか？ →決まっていない。2か所ぐらいでやりたい。
- ・ 何日ぐらいのイベントか決まっていますか？ →決まっていない。1か所1週間ぐらいかな。
- ・ 有名人を読んでの盛り上げなどは考えていますか？ →そういうこともあるかもしれない。



- ・ 1週間×2か所、3万ルーメンのプロジェクター×8台で試算
 - ・ 準備に4日間、撤収に1日間を見込む
 - ・ 音響設備は、1,000人ぐらいが集まっても聴こえるスピーカーを用意
 - ・ 警備員等は過去の事例から、20人前後を想定
 - ・ 有名人は、ひとり300万円×2名程度を想定
 - ・ コンテンツ制作は2本で5,000万円を想定
- ざっくり2億円 →余裕を見て3.5億円で回答

(参考) 提案に必要な4つの要素

現状

- ・ 官公庁・自治体公表資料
(行政計画、白書、議会議事録、報道発表、予算書…)
- ・ 民間調査資料
- ・ ニュース、記事
- ・ 身近な体験・経験・・・
※職員が知らないことならなおベター

課題

解決策 (=事業)

- ・ 誰が・誰に・何を・どうするのか、具体的に
(=事業スキームを意識する：後述)
- ※地域住民のための施策であることを意識して
- ※自社の強みを客観的に盛り込む！

得られる効果

- ・ 何がどう変わるのか？
- ・ 何を実現できるのか？
- ・ 地域住民にとってどういうメリットがあるか？

(参考) 提案に必要な4つの要素

提案に必要な4つの要素 「現状」「課題」「解決策(=事業)」「得られる効果」

・・・なぜこれが必要か??

令和5年3月定例会 令和5年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

事業名	宮津駅開業100年に合わせた長寿命化対策と待合室の利用環境改善 (宮津市ターミナルセンター整備事業)	充実	予算額							
			国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源			
背景・経緯	・H2.3:宮津駅のターミナルセンターが竣工。(R4年度末で建設から33年が経過) ・R3.6:『宮津市公共施設個別施設計画』策定 ⇒ 宮津ターミナルセンターは今後10年間に優先する長寿命化対策対象に ・R4.3:『宮津市地域公共交通計画』策定 ⇒「方策3 待合施設の環境整備(Wi-Fiや多言語表示の整備など)」 ・R4年度:宮津駅(ターミナルセンター)の劣化状況調査、待合室改修に向けたワークショップの開催などを経て、整備に係る実施設計を実施 ・R6.4:宮津駅が2024年4月12日で開業(1924年4月12日)から100年を迎える	69,000	500	9,000	59,500	0				
							7,600	国	デジタル田園都市国家構想交付金	500
							4,520	府	駅周辺にぎわいづくり推進事業費補助金	9,000
目的・目標	2024年(令和6年)の宮津駅開業100年に合わせ、建設時から30年を越えて劣化が進んでいるターミナルセンターの長寿命化対策と待合室の利用環境改善を一体的に行うことで、駅本体の安全性を高めるとともに、駅利用者の利便性・満足度の向上を図る。									
事業概要	■宮津駅(ターミナルセンター)の長寿命化対策と待合室の利用環境改善 69,000千円 ○建物本体の長寿命化対策:屋根防水、外壁改修など ○待合室の利用環境改善:ワークショップやアンケート調査を踏まえた改修 <待合室改修のポイント> ・外やホームが見える開放的な空間に ・ベンチ等について、配置も含めて工夫を ・プラスαの機能(授乳室・おむつ替えスペースの設置、観光案内の充実、無料Wi-Fi設置など)を ・バス停とのつながりを大切に ※待合室の改修に向けたワークショップの開催状況など R4.12~R5.2 高校生や子育て世代、関係者等によるワークショップ(全3回)を開催 R4.12 利用者等を対象にアンケート調査を実施(256人回答)									
期待される効果等	・長寿命化対策の実施による駅の耐用年数の増加及び安全性の向上 ・待合環境改善による、利用者の満足度向上及び利用促進 [第7次宮津市総合計画数値目標] ・公共交通利用者数 R元:192万人 ⇒ R7:223.2万人									

①自治体を取り巻く現状

②自治体の抱える課題

③解決策(事業の提案)

④地域が得られる効果

必ず予算説明書で求められる項目だから!!

出典:宮津市HPより



(参考) 「ざっくり提案ストーリー」がなぜ必要か？

4つの要素を簡単にまとめた「ざっくり提案ストーリー」を当てて反応を見る

○4つの要素をざっくりと提案ストーリーにまとめて、それを役所に当ててみて、大まかな方向性を確認

=課題認識と解決策の方向性がある程度、役所側の考えと合っているのかどうか！？

○1枚～数枚程度の簡単な資料でO.K.。あるいは参考になりそうなペーパーなど

場合によっては、(たばこ部屋での会話などで) 口頭でもO.K.

ざっくり提案ストーリーの例 (健康福祉課・健康増進イベント)

現状	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇市では、人口▲▲人、平均年齢・歳 ・出生率も××であり、近年の高齢化進展が顕著
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化進展に伴う医療費・介護費増大 ・労働人口減少による働き手不足が、主要産業である金物加工業にも大きく影響
解決策 (=事業)	<ul style="list-style-type: none"> ・60歳以上を対象にしたフレイル予防イベントの定期開催 ・<u>XR技術など最新技術</u>もうまく取り入れ、「高齢者」手前からの活動参加を促す ・地元<u>〇〇大学・教授</u>を効果的なフレイル予防の観点からアドバイザーに招聘する
得られるもの	<ul style="list-style-type: none"> ・自治体医療費負担の縮減 ・60歳以上就労比率の向上

※ 青文字のような、自社の強みをさりげなく盛り込んでおく！

(参考) 「ざっくり提案ストーリー」がなぜ必要か？

なぜ「ざっくり提案ストーリー」を当てて反応を見るのか？

『CO2削減に向けて、EV車のさらなる普及を促進したい！』

- ① さらにCO2削減効果を高めるため、省電力性能の高いEVの技術開発(研究開発)にお金を出そう！
- ② 一定以上のCO2削減効果が見込める性能のEVがもっと普及するよう補助金を出そう！
- ③ CO2排出に繋がるガソリン車の販売を規制しよう！
- ④ CO2排出に繋がるガソリン車の自動車税を上げよう！
- ⑤ まず役所がお手本を見せるべく、公用車をEVにしよう！

研究開発

補助金

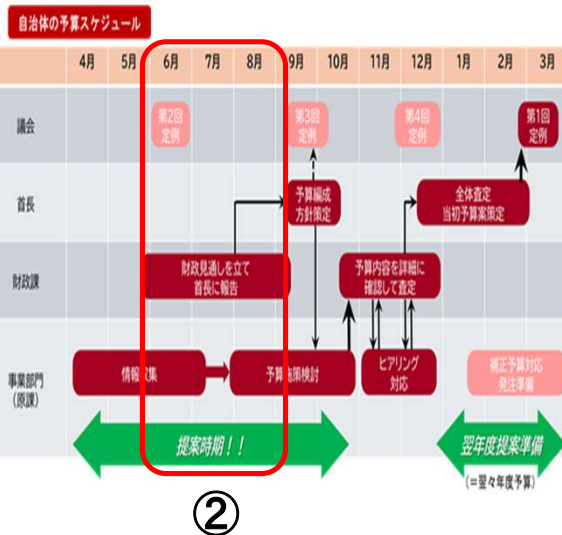
規制緩和・強化
(法改正・ガイドライン)

税制措置

公共事業

1つの政策目標に向けても、いろいろな政策手法(施策)が考えられるから！

6月～8月 次年度施策の深掘り



<次年度予算施策の本格検討・深掘り>

- 予算施策の方向性を見定め（部局内の予算枠内での調整）
＝その施策が財政課ヒアリングを通せそうなものか見極め
- 予算施策の内容の深掘り
＝事業規模（対象、範囲）、事業内容（具体的な中身、おおよその仕様）

<今年度予算施策の執行>

- 発注・事業者選定（競争入札、プロポーザル、随契）

<営業としてやるべきこと>

- 予算の俎上に載りそうな施策について、提案内容の深掘り
＝導入事例紹介で止めを刺し、自治体担当者と打合せを重ねて詳細を詰めていく
- 詳細を詰めていく中で、『客観的な必要性に基づき』自社の強みを入れ込む
＝仕様化
- 詳細を詰める中で、何度も見積りを出し直す
- 入札対応

(参考) 導入事例紹介の有効性

- 自治体職員は、考えている施策が他の自治体で事例があると、「実現可能性が高い」と判断できるので安心して予算化フェーズに進むことができます。
- 従って、他の自治体での導入事例紹介を有効に差し込むことで、予算化に向けて大きくドライブすることができます。

【導入事例紹介で自治体職員が聞きたいこと】

- ・ どの自治体の事例か？ そこは自分の自治体と類似した自治体か？
(自治体規模、高齢化や過疎化の状況、課題の状況など)
- ・ いつの事例か？ 自治体担当者はだれか？
- ・ 総額いくらだったのか？ 国費（国の補助金）は使ったか？
- ・ 発注形態は？（競争入札？プロポ？）
- ・ そもそも行政課題は何だったのか？それは定量化されていたのか？
- ・ 導入後の効果は？ 定量化された成果はあるか？
- ・ どのような比較検討の上で、導入に至ったのか？
- ・ 導入時、または導入後に何かトラブルや困難な点はあったか？
- ・ 実際に導入した後の職員の感想はどうか？
- ・ ランニング経費はどのくらいかかるのか？
- ・ 保守・運用はどのような形になるか？ 行政職員側の負担はどうか？
- ・ このような事例は、全国で他にもあるのか？

自分の自治体に当てはめた時にどうなのか？知りたい！

→職員は、自分が予算要求し、発注し、導入するときのことをイメージしながら聞いてきます！

(参考) 提案深掘りのポイント

自治体職員とやり取りしながら、提案をブラッシュアップ（玉磨き） . . .

その際のポイント

- いかに関地域課題の解決に繋がる提案か！？ 本当に住民の生活向上に繋がるか！？
- 自社のことを言う必要なし！ 「**売り込み**」は**逆効果**！（事業者はあくまで入札で決めるから）
＝あくまで『**事業にとって客観的な必要性**』をベースに、**自社の強みを提案に盛り込んでいく**
- 客観的データ、裏付けがあるとよし！
- 他の自治体での事例があるとよし！（類似事例でも可）
- 「得られるもの」、施策導入効果も可能なら数字で示してみる！
- 必ず何か『宿題』をもらって、次の訪問時に返すようにする！

3, 4ヵ月で 「詳細見積り下さい」

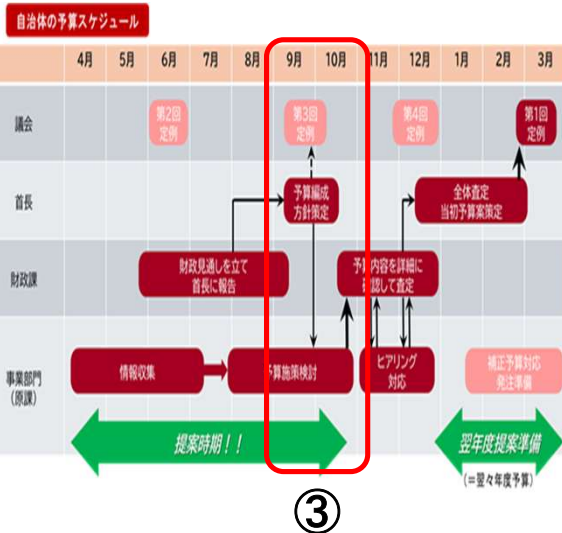
(事例) 東京都からのプロジェクションマッピングの例

(水辺でのプロジェクションマッピングイベント)

- 2019年3月の「TOKYO VISION」での事例紹介
- いろんな場所を視察して回り、プロジェクションマッピングイベントにふさわしい場所をいくつか選定
 - 具体的な投射設計に落とし込み
- 使用するプロジェクターとして**50,000lmのもの**をご提案
『30,000lmより1台あたりは高いですが
 - ・台数が少なくて済むので施工費用を抑えられる
 - ・オリンピックで使用される予定の信頼性のあるもの』
- コンテンツの制作実績について提案
 - ・過去に**□□人規模以上のプロジェクションマッピングコンテンツ**を制作した実績があること
 - ・当社面積**□□㎡**以上のプロジェクションマッピングコンテンツを制作した実績があること
- イベント企画・警備計画の実績について提案
 - ・**△△人以上が集まるプロジェクションマッピングイベント**の企画・警備実績があること



9月～10月 予算案作成



<次年度施策の予算要求準備>

- 予算案資料の作成
= 一件一葉、積算根拠資料など
- 財政課ヒアリング対応の準備
= ヒアリングされそうな項目の根拠資料集め

<今年度予算施策の執行>

- 発注事業の見届け



<営業としてやるべきこと>

- 必要なバックグラウンドデータの提供
- 正式見積り提出 (詳細内訳付き)
- 受注事業の遂行、改善点の提案 (=次年度リプレイス対策)

(参考) 一件一葉とは

- ・「一つの事業・施策について、A4一枚(=一葉)で要点を整理する資料」
- ・予算要求のほかに、事業評価・事業レビュー、首長・部局長への説明、財政課・総務部との査定、議会説明などでも使われます
- ・この1枚がいろんなところで使われます(一人歩きする前提)

令和5年3月定例会		令和5年度当初予算 事業等説明資料		(単位:千円)																								
事業名	定住・空き家対策推進事業	充実	予算額	財源内訳																								
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源																				
背景・経緯	・H23.9:みやびUIターンサポートセンターを設置 ・H27.4:京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会を設置(移住定住部会で連携) ・H29.8:宮津市空き家空地对策協議会を設置 ※京都府の移住促進特別区域の指定済地区:宮津・上宮津・吉津・府中・世屋・養老地区(※申請中:栗田・日ヶ谷地区)		40,952	1,499	18,700		9,000	11,753																				
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳																								
目的・目標	移住希望者等の住環境確保への支援を充実させるとともに、京都府の移住に関する条例に基づく移住促進特別区域の市全域指定を目指し、移住者の受入体制の強化など、地域と一体となった移住定住支援を推進する。 また、第2期空き家空地对策計画に掲げる「地域とともに空き家を活かす」を基本方針に、地域や関係機関が連携し、総合的な空き家対策を推進する。		26,074	国	デジタル田園都市国家構想交付金	1,499	府	子育て支援総合支援事業費補助金	9,000																			
			(参考)前年度決算額	府	移住促進事業費補助金	7,850	府	きょうと地域連携交付金	1,850																			
事業概要	■定住支援空き家等改修補助 17,800千円 市内への定住を目的に購入または賃貸した空き家等の改修または家財撤去を支援 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">移住特区 (府1/2・市1/2)</th> <th colspan="2">移住特区外 (市制度)</th> </tr> <tr> <th>空き家改修</th> <th>家財撤去</th> <th>空き家改修</th> <th>家財撤去</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助率</td> <td colspan="2">10/10</td> <td colspan="2">1/2</td> </tr> <tr> <td>補助金額</td> <td>1,800千円 (上限)</td> <td>100千円 (上限)</td> <td>1,000千円 (上限)</td> <td>50千円 (上限)</td> </tr> </tbody> </table> 【再掲】結婚・子育て世帯への住宅確保に向けた支援 15,000千円 ・「結婚時」と「出産時、小学校就学時」をターゲットにした新たな支援 ■地域とともに取り組む移住・定住人口の増加に向けた対応 4,000千円 ○移住定住に向けたPR動画の制作 3,000千円【新規】 地域と職員が一体となった動画制作ワークショップの開催 ○移住促進特別区域が取り組む移住受入体制整備への支援 1,000千円(2地区) ■移住者の受入体制の強化に向けた調査等 675千円【新規】 ○今後の移住定住政策検討に向けたニーズ調査等 500千円 ・市内外の若者や社会人等に対する意見交換会・アンケートの実施など ○市街地内の宅地化促進に向けた研究 175千円 ・未利用土地の利活用に向けた現状や課題の把握、宅地化を促進するための対応の検討 ■空き家空地对策の実施や空き家バンクの運営等 3,477千円	区分	移住特区 (府1/2・市1/2)		移住特区外 (市制度)		空き家改修	家財撤去	空き家改修	家財撤去	補助率	10/10		1/2		補助金額	1,800千円 (上限)	100千円 (上限)	1,000千円 (上限)	50千円 (上限)		7,882	府	子ども若者未来応援基金繰入金	6,000	繰入	まち・ひと・しごと創生基金繰入金	3,000
			区分	移住特区 (府1/2・市1/2)		移住特区外 (市制度)																						
空き家改修	家財撤去	空き家改修		家財撤去																								
補助率	10/10		1/2																									
補助金額	1,800千円 (上限)	100千円 (上限)	1,000千円 (上限)	50千円 (上限)																								
総計重要プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト																											
				テーマ別戦略	住みたい、住み続けたいまちづくり																							
				施策分野	移住・定住促進																							
					【宮津市総合計画以外の計画】																							
					R3	第2期宮津市空き家空地对策計画		R4~R13																				
				期待される効果等	・住環境の確保支援による移住・定住者の増加 ・地域(自治会、地域会議)等との連携による空き家等の掘り起こしと確保 ・京都府の移住促進特別区域における地域主体の移住受入取組の推進 【総合計画テーマ別数値目標】 ・人口 R元 15,202人 → R7 15,450人 ・宮津に住み続けたい人の割合 R元 61% → R7 80%																							
				担当部署	企画財政部 企画課	45-1607	3・4	7・16																				
					定住・地域振興係																							



(参考) 積算根拠資料とは

- ・「積算内訳書」とも言われる
- ・人件費（単価×人数×時間）、委託費・物件費の内訳、単価根拠（国基準・他自治体・見積）

○特に、『一式』等の表現ではなく、必ず（単価×数量）を明確に示す

（例えば、4回会合を開くとすると、そこで使う印刷物についても

印刷費 @1.5円 × 120枚 × 10人 =1,800円

などと詳細に積み上げていく）

○単価の根拠を明確に示す

（よく使われる国基準としては以下のようなものがある）

- ① 人件費・委託費：国土交通省 設計業務等標準積算基準／業務委託積算基準
- ② 謝金・有識者・委員報酬：内閣官房／各省庁 各種検討会・有識者会議謝金基準
- ③ 旅費・会議費：総務省 国家公務員等の旅費規程
- ④ 調査・研究・事業設計系：文部科学省 調査研究委託費の積算考え方

○ 国基準などが無い場合は、「業者見積り」が積算根拠となるため、詳細内訳が必要
（かつ、『なぜその仕様（スペック）でないといけないのか？』の資料も用意が必要）

(参考) 積算根拠資料とは

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

令和7年2月14日
大臣官房技術調査課
港湾局技術企画課
航空局航空ネットワーク部空港技術課

令和7年3月から適用する設計業務委託等技術者単価について
～対前年度比5.7%の引き上げ～

令和6年度に実施した設計業務委託等給与実態調査に基づき、設計業務委託等技術者単価を決定し、令和7年3月から適用することとしたのでお知らせします。

令和7年3月から適用する設計業務委託等技術者単価について

資料 1

1. 設計業務委託等技術者単価とは

- 国土交通省が発注する設計業務委託等（設計・測量・地質等）の積算に用いる全国一律の単価。
- 毎年度実施している給与実態調査結果に基づいて、20職種（職階）の単価を設定。

2. 令和7年度技術者単価の概要

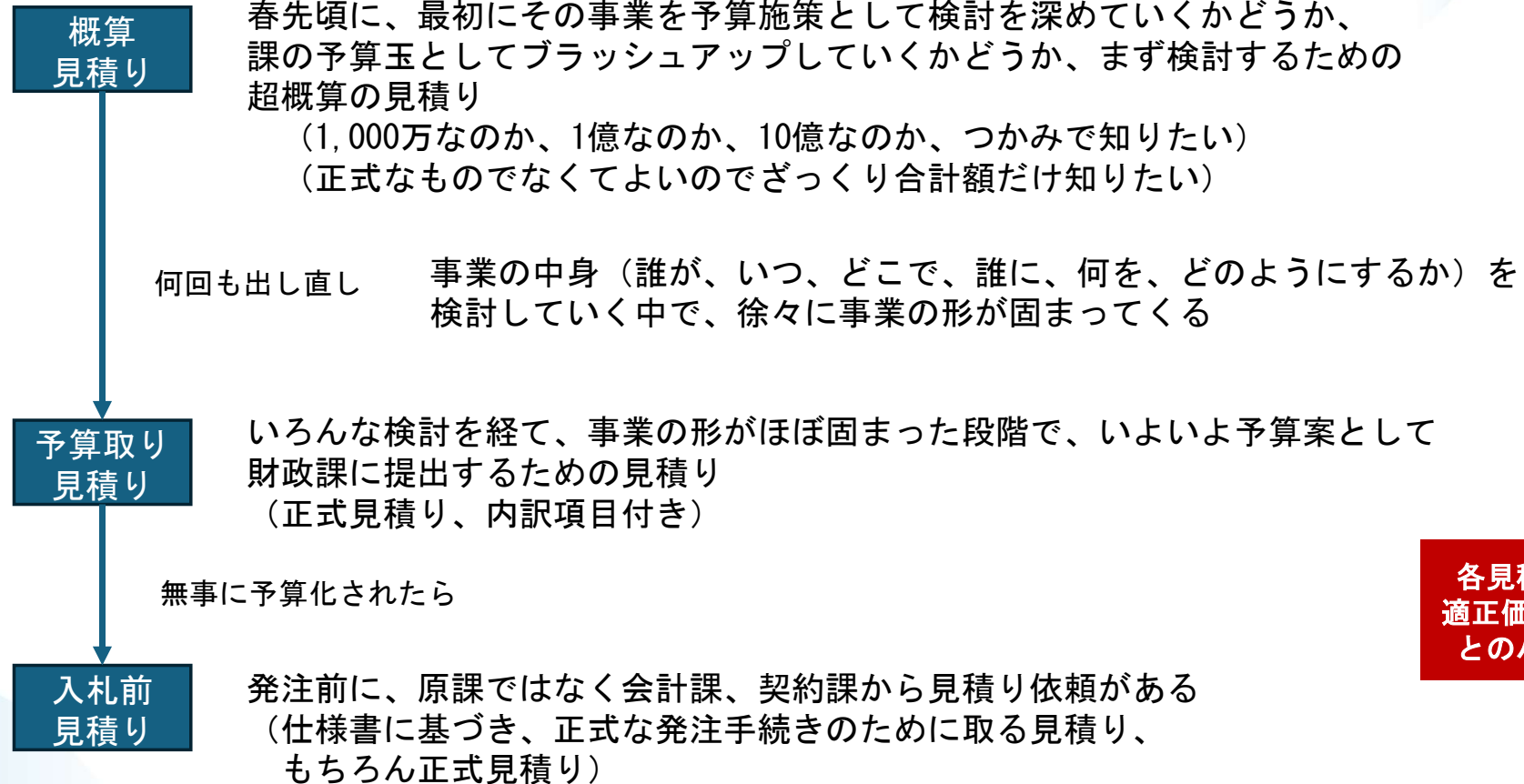
		対前年度比 (H24比)
【全職種（職階）単純平均】	49,570円	+5.7% (+58.6%)
(内訳)		対前年度比
設計業務（7職階）	平均 59,643円	+5.2% (+55.6%)
測量業務（5職階）	平均 43,520円	+9.3% (+91.9%)
航空・船舶関係業務（5職階）	平均 44,480円	+3.2% (+46.6%)
地質調査業務（3職階）	平均 44,633円	+6.2% (+63.7%)

(参考) 近10か年の伸び率(全職種(職階)平均)

	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6
全職種:	+4.7%	+3.8%	+3.1%	+3.0%	+3.7%	+3.1%	+1.6%	+3.2%	+5.4%	+5.5%

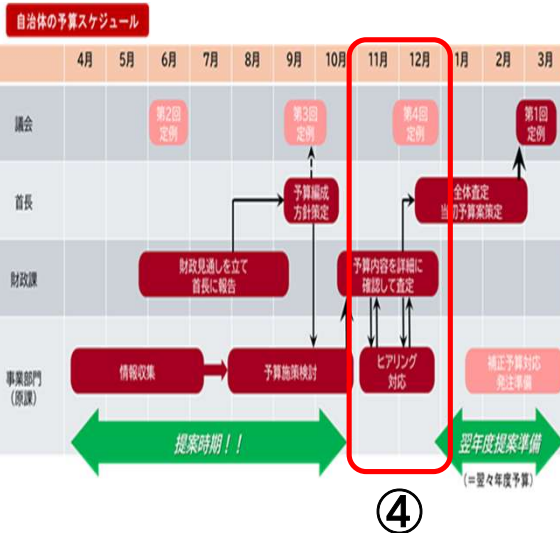
(参考) 見積りを出す3つのタイミング

3つの見積りの提出タイミング



各見積りにおいて、
適正価格（受注価格）
とのバランスに注意

11月～12月 財政課ヒアリング対応

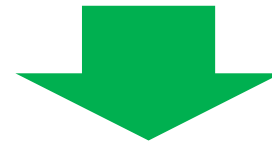


<次年度施策の財政課ヒアリング対応>

- 財政課ヒアリング対応
=ヒアリングされるであろう項目の根拠資料集め

<今年度予算施策の執行>

- 発注事業の見届け
(来年度事業での改善点の抽出 ※来年度継続事業を予算要求中)



<営業としてやるべきこと>

- 財政課ヒアリングで聞かれるであろう項目について、先回りして資料を提供
※ヒアリング後に「今日中に!」という特急依頼が来ることもあり
- 受注事業の遂行、改善点の提案 (=次年度リプレイス対策)

(参考) 財政課ヒアリングとは

財務課ヒアリングとは？

- ・ 原課から提出された各事業について、その必要性和金額とを精査する
- ・ ここで、提案した事業がヒアリングを乗り越えられるよう、様々な情報提供を行い原課をサポートする

財務課ヒアリングで聞かれることは？

- ① 全体のストーリー、ロジックの整合性、上位計画との関係性 【整合性】
- ② 来年度にやらないといけないことか？ 【喫緊性】
- ③ 本当に自治体予算でやらないといけないことか？民間に任せればいいんじゃないの？
【行政がやるべき必要性】
- ④ その事業をやって本当に効果があるの？ 【実効性】
- ⑤ 他の手段の方がいいんじゃないの？ 【適切性】
- ⑥ 金額は本当に妥当なの？ 他の自治体でも事例はあるの？ 【妥当性】



様々なデータや、他の自治体での事例、
詳細な積算根拠の提示などでサポート

さらに詳細ご関心のある方は

ぜひ個別にご相談ください

自治体営業スペシャリスト養成研修
行政知識・マインドを理解し提案
 ～予算化～入札までをコントロール

人材開発支援助成金
 約50%を使用
 出来る場合があります

「提案が受け入れられる時期」とは？
 「高利益率な自治体事業」の構築方法とは？

自治体営業は「自治体」「役人」を正しく理解するところから

なぜ自治体に提案が刺さらないのか？
 それは、自治体や行政職員について正しく理解していないからです。相手を正しく理解して、適切なアプローチをすれば、必ず理想とする自治体事業の姿にたどり着けます。

2時間×3日間の研修プログラムで、貴社の自治体営業で何ができていて、何ができていなかったのかが明らかになり、今後の自治体へのアプローチが明確に変わります。



講師
 砂川 章雄 (いさがわあきお)
 行政営業コンサルタント

中小企業から
 大企業まで
 対応可能

◆主な役割

- 行政 × 民間の「共創ハブ」として、地方創生・地域課題解決に向けた実務型プロセスを構築。
- 国・自治体との豊富なネットワークと、行政制度・補助金制度の知見を強みに、企業と行政の共創をコーディネート。
- 政策意思と事業性の両面から、具体的な連携スキームを提案する。

◆実績・活動領域

- パナソニック意匠時代より、中央部庁(総務省・経済省 等)との官民連携実績多数
- 年間30以上の行政連携プロジェクトに關与(地域創生・福祉・観光・教育・防災など)
- 補助金・プロポーザル支援の他、自治体・企業向けの研修講師・アドバイザーとしても活動
- 近畿日本ツーリスト、JTB東日本グループ、自経グループと連携した企業実績あり
- 講演・セミナー実績：全国各地の自治体、企業、業界団体などで多数

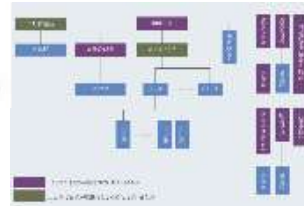
◆独自の強み

- 行政「内」と「外」の両方を理解する視点
- 25年におわたり行政機関と密着やりとりしてきた実務経験により、政策立案側の思考と事業者側の視点をバランスよく掌握。
- 制度法務から現場実務まで多トータルな強み
- 補助金活用や事業スキーム構築など、制度の「活かし方」を提案しながら、現場への落とし込みまで伴走。
- 官民連携に必要な「翻訳力」と「共創力」行政文書を民間の言葉に翻訳し、逆に企業の想いを行政に届く形で再構築、信頼を築く共創パートナーとして機能。



1. 自治体を知る

自治体とは何か？ どのような組織で、どのように政策を立案して実行しているのか？
 予算要求や執行など、自治体の仕組みを理解することで、正しいアクションを取ることができます。
 自治体営業がつまづくポイントもお伝えします。



2. 行政職員を知る

自治体職員の態度に違和感を感じたことはありませんか？
 なぜ彼らはそういう態度を取るのか？
 その態度の裏側に何があるのか？
 それを理解した上で接することで、コミュニケーションが全く変わり、提案を通す力が身につきます。



- ・ 2時間×3日間の研修をベースに、ワークやロールプレイを交えるなどカスタマイズも可能
 - ・ オンライン・対面、どちらでも
 - ・ 基本 300,000円（税抜）
- お気軽にお問い合わせください
 → info@oneness-link.com



Oneness Link

ご清聴ありがとうございました！